

<建設業会計1級（原価計算）ミニテスト11> 工事契約会計における原価計算

【問題】

下記の資料によって、大阪マンション建築工事の請負について、当期に計上すべき収益の総額（完成工事高）を解答に記載の手順で計算しなさい。収益の認識基準は工事進行基準を採用している。

[資料]

(1) 工事の契約金額	130,000,000 円	
(2) 工事の実行予算	100,000,000 円	
(3) 着工から前期末までに発生した工事原価		11,000,000 円
(4) 当期の発生工事費用		
材料費	8,000,000 円	
労務費	3,500,000 円	
外注費	22,000,000 円	
経費	1,800,000 円	

(5)その他

- 当該工事の契約金額および実行予算については、当初設定したものから変更はない。
- 外注費のうち、水道工事について工事完了の確認書と請求書（金額：3,000,000 円）が到達しているが未払いのため工事費用に参入していない。
- 工事進捗度の計算は原価比例法によっている。

【解答】

①当期発生工事費用（加算式）

$$8,000,000 + 3,500,000 + 22,000,000 + 1,800,000 + 3,000,000 = 38,300,000$$

②当期末までに発生した工事費用（資料+①）

$$11,000,000 + 38,300,000 = 49,300,000$$

③当期決算日における工事進捗度（除算）

$$49,300,000 / 100,000,000 = 0.493$$

④前期までに計上した収益総額（完成工事高）

$$\text{前期進捗度} \rightarrow 11,000,000 / 100,000,000 = 0.11$$

$$\text{請負金額} \times \text{前期進捗度} \rightarrow 130,000,000 \times 0.11 = 14,300,000$$

⑤当期に計上すべき収益の総額（完成工事高）

$$\text{請負金額} \times \text{当期進捗度} - \text{前期までの収益額}$$

$$130,000,000 \times 0.493 - 14,300,000 = 49,790,000 \text{ (円)}$$